

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年7月24日

【観測結果（調査日：7月18、22、23日）】

7月18日に渥美外海、22日に伊勢湾北部、23日に伊勢湾南部の観測を実施しました。

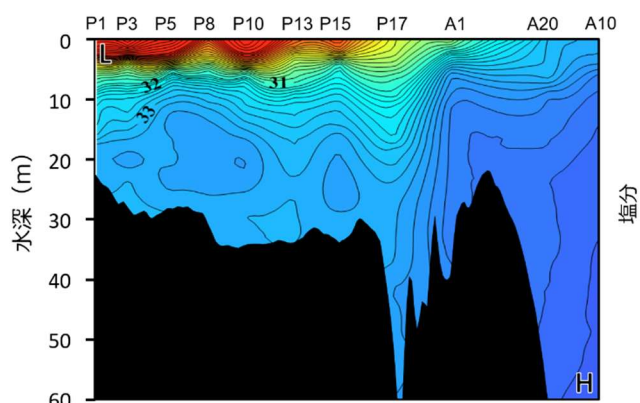
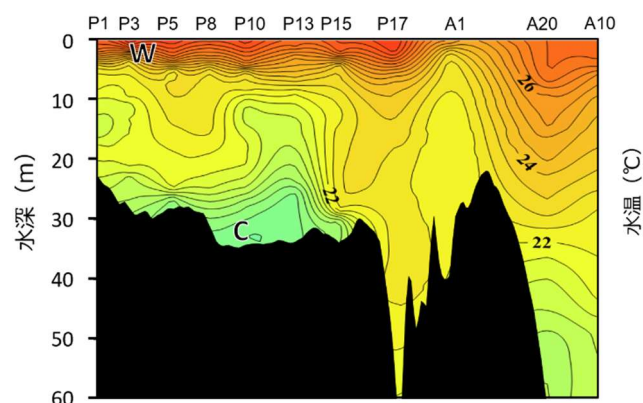
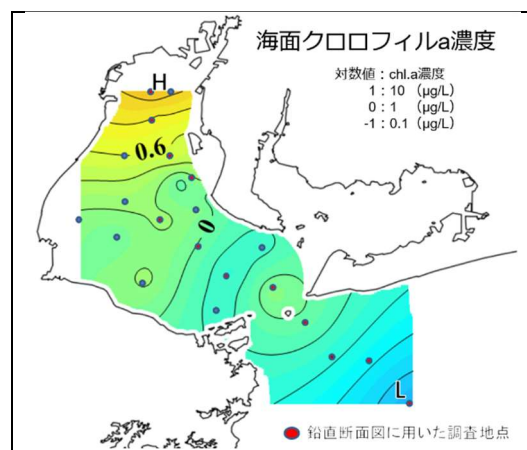
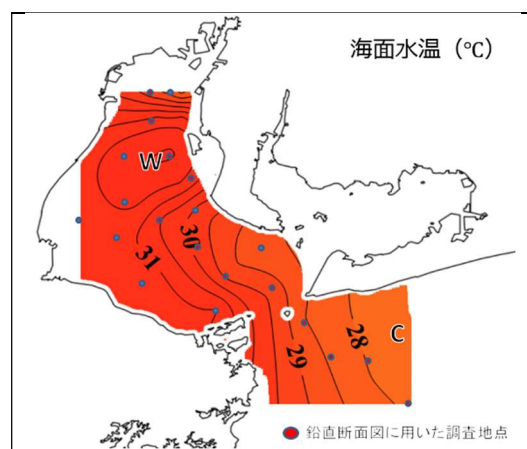
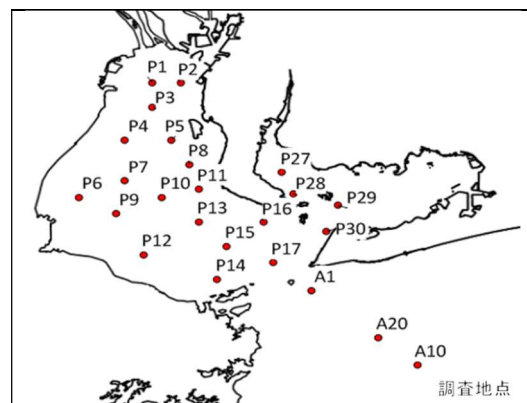
【水平分布（調査点：P1～A10）】

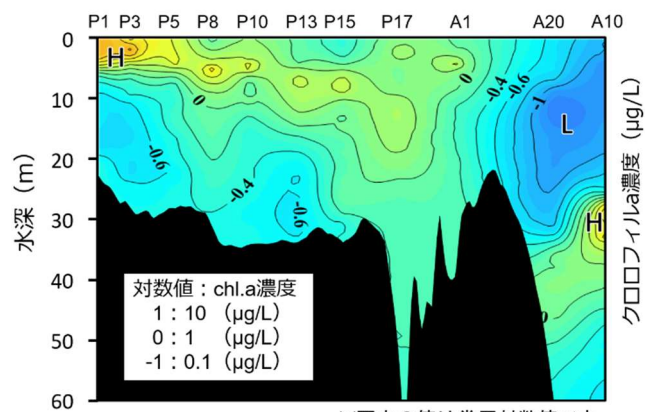
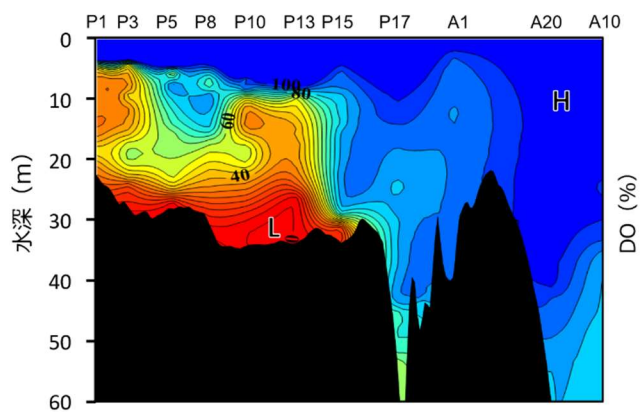
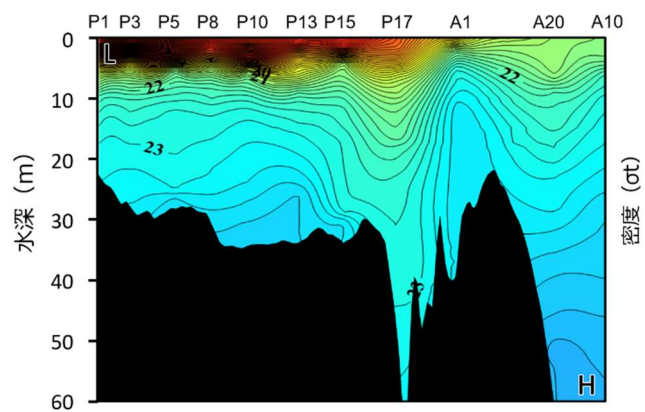
海面水温は、27.9℃から32.0℃となっており、伊勢湾湾央部で最も高く、渥美外海が低くなっています。海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾の湾奥で高く、渥美外海で低くなっています。伊勢湾は日射と気温の影響で高温傾向になっており、渥美外海は黒潮系暖水の波及の影響でクロロフィルa濃度は低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾湾奥（P1）～湾口（P17）にかけて、表層は日射と河川からの淡水流入の影響で、高温低塩分の軽い水に覆われています。その結果、表層と底層の間で成層が発達し、酸素供給の乏しい底層では貧酸素水塊（溶存酸素濃度30%以下）が分布しています。

渥美外海（A1～A10）では海底に沿って高密度の水塊が湧昇しており、この水塊は栄養が豊富であるため、直上ではクロロフィルa濃度が高くなっています。しかし、この湧昇した水塊は、渥美外海の表層が黒潮系暖水に覆われている影響で、内湾に波及する規模が小さいと考えられます。





※図中の値は常用対数値です